

第4回一般社団法人日本マイクロ・ナノバブル学会学術総会  
－ マイクロ・ナノバブルの発生・評価技術の確立と応用 －

## 一般演題募集要項

**演題登録は 2015 年 8 月 3 日より本会 Web ページ上で受付を開始**

明治大学駿河台キャンパス リバティータワー1F  
メイン会場「**リバティール**」  
東京都千代田区神田駿河台1丁目1番

主催 一般社団法人日本マイクロ・ナノバブル学会

## 《一般演題募集要項》

第4回学術総会開催にあたり、一般演題（口頭発表・ポスター発表）を募集いたします。一般演題応募は本会 Web ページよりオンラインでの登録となります。下記要領をご一読の上、奮ってご応募ください。多数の研究発表のご応募をお待ちしています。

第4回学術総会  
大会長 白井 泰雪

### （1）募集期間

2015年8月3日（月）～9月30日（水曜日）午後5時00分締め切り

### （2）応募資格

マイクロ・ナノバブルに関する研究発表であれば、会員・一般・学生を問いません。

### （3）発表形式

- ① 口頭発表 約15分（質疑応答約3分程度を含む）
  - ② ポスター発表 ポスター発表エリアに終日掲示します（別途、コアタイム設定）
- ※応募多数の場合、口頭発表登録の場合であってもポスター発表への変更を打診させていただきます場合がありますのであらかじめご了承ください。

### （4）応募方法

- ① 学会 Web ページよりオンライン登録のみとなります。 演題登録は[こちらから](#)
- ② 抄録原稿（MS Word 作成）を登録フォームの指定箇所に添付してください。

### （5）抄録原稿・発表スライドおよび発表ポスター作成の留意点（共通）

- ① 研究に用いたマイクロ・ナノバブル水の「気体の種類」、「粒径」、「密度」、「溶媒種あるいは製品名」を本文中、若しくは抄録原稿、発表用スライド、発表ポスターの最後に記載してください。
- ② 抄録原稿、発表スライド、発表ポスター中、主題・副題を含め、微小気泡核「マイクロバブルおよびナノバブル」以外の表現はご遠慮ください。
- ③ 発表用スライド（MS PPT）データは、USB にて当日ご持参ください。  
演壇上に用意する PC は「Win7、MS Office2010、他ソフト」となります。画面チェック用に本会場前室の「総会事務局」PC を用意しています。
- ④ 発表ポスターは当日ご持参いただき、本会場前室の「総会事務局」受付担当者にお渡しください。
- ⑤ 発表用スライドおよびポスターの PDF 版を当日までにご提出してください。

※不明の点は総会事務局にお問い合わせください。 mail info.sig@mnb-sc.jp

## (5) 採否の方法および通知

- ① 演題の採否は抄録査読委員の意見により大会長が採否を決定します。
- ② 採否の結果は11月2日(月)にメールにて通知いたします。

## (6) 発表時間(口頭発表の場合)

- ① 発表する時間帯・セッションは、演題選定後に決定させていただきます。
- ② 各発表者(筆頭者)の氏名、演題名は最終プログラム決定後に本会Webページ上に掲載します。

## ■個人情報・著作権取扱いについて

日本マイクロ・ナノバブル学会のガイドラインおよび取扱規程によります。

<http://mnbsc.jp/admission> 著作権取扱規程

<http://mnbsc.jp/announce> 個人情報取扱ガイドライン

## ★演題登録に関する注意事項

- ① 学会発表内容に特定の企業あるいは団体との利益相反(Conflict of Interest「COI」)が存在しないことを宣言いただくために、演題登録フォームの確認チェックボックスにチェック(COIは存在しません )をお願いします。
- ② 抄録の著作権については「日本マイクロ・ナノバブル学会著作権取扱規程」によります。  
▶ 発表内容を抄録提出としてエントリーしていただく際に、抄録はすべて学会に帰属する事の同意書のチェックボックス(同意)にチェックをしてください。
- ③ 発表内容の不正防止の観点より、第4回学術総会ではデジタル媒体として画像および音声記録をさせていただきます。この記録は原則外部公開を行いませんが、学会発表内容に疑義が生じた場合など、外部公開の必要性が生じた場合、発表者に了解を得た上で公開させていただきます場合があります。  
▶ 本事項についても、記録主旨を記載した内容への同意書のチェックボックス(同意)にチェックをしていただきます。明治大学リバティーホールに常設の音響機器で自動収録となります。管理保全は学会事務局にて行います。

尚、上記に同意いただけない演題は採択対象から外させていただきますので、あらかじめご了承ください。

備考：

- (1) 採用された演題の抄録原稿は第4回学術総会プログラム・抄録集に掲載いたします。
- (2) 発表者(筆頭発表者)は当日の懇親会に無料で参加できます。

## 第 4 回日本マイクロ・ナノバブル学会学術総会 (抄録原稿作成方法・留意点)

抄録は『演題名』『副題』任意『演者名』『所属名』『本文』『キーワード』任意  
『研究に用いたマイクロ・ナノバブル水』必須『参考文献名』で構成

(作成例)

○○○○ (演題名)  
-○○○○- (副題)

○白井泰雪<sup>1</sup> 長島孝行<sup>2</sup> 玉置雅彦<sup>3</sup>  
東北大学未来科学技術共同研究センター<sup>1</sup> 東京農業大学農  
学部農学科<sup>2</sup> 明治大学黒川農場アグリサイエンス研究室<sup>3</sup>

以下、本文

【緒言】○○○  
○○○  
○○○参照文献名<sup>[1]</sup>

【目的】○○○  
○○○  
○○○

【方法】○○○  
○○○  
○○○

【結果】○○○  
○○○  
○○○

【考察】○○○  
○○○  
○○○

キーワード：○○○ ○○○ ○○○

(研究に用いたマイクロ・ナノバブル水) 必須  
①気体の種類 ②粒径 ③密度 ④溶媒種あるいは製品名

(参考文献)  
[1] ○○○ [2] ○○○

作成例は実際に使用するフォントです。

(演題名・副題)

- (1) フォントは MS ゴシック 18pt. 100 文字以内。
- (2) 副題は両端に全角マイナス「-」を付ける。
- (3) 企業名、製商品名を使用しない。

(氏名・所属)

- (1) フォントは MS 明朝 10.5pt.
- (2) 筆頭演者(発表者)の前に○印を付ける。

(本文)

- (1) フォントは MS 明朝 10.5pt. 文字数 1200 字内。
- (2) 小見出し【緒言】【目的】【方法】【結果】【考察】等  
に続いて改行せずに本文を記載する。
- (3) 一つの小見出しの記載が終わったら、改行して次の  
小見出しから記載する。

(キーワード)

- (1) キーワードは 3 つ程度。
- (2) キーワードの間には全角スペースを入れる。

(研究に用いたマイクロ・ナノバブル水) 必須

- ①気体の種類 ②粒径 ③密度 ④溶媒種あるいは製品名  
を本文中、若しくは抄録現行の最後に記載してください

(全般)

- (1) 用紙は A4 縦 1 枚。
- (2) 余白設定は上下左右 25 mm。
- (3) 句読点は全角ピリオド「。」と全角カンマ「、」
- (4) 英数字は半角に統一する。
- (5) 文字化けを防ぐために囲み文字、機種依存文字等の  
特殊文字を使用しない。
- (6) 本文中に画像・図表を挿入する場合は原稿の範囲内  
とする。
- (7) 抄録原稿のファイル名は必ず半角英数字、フルネー  
ムとしてください。

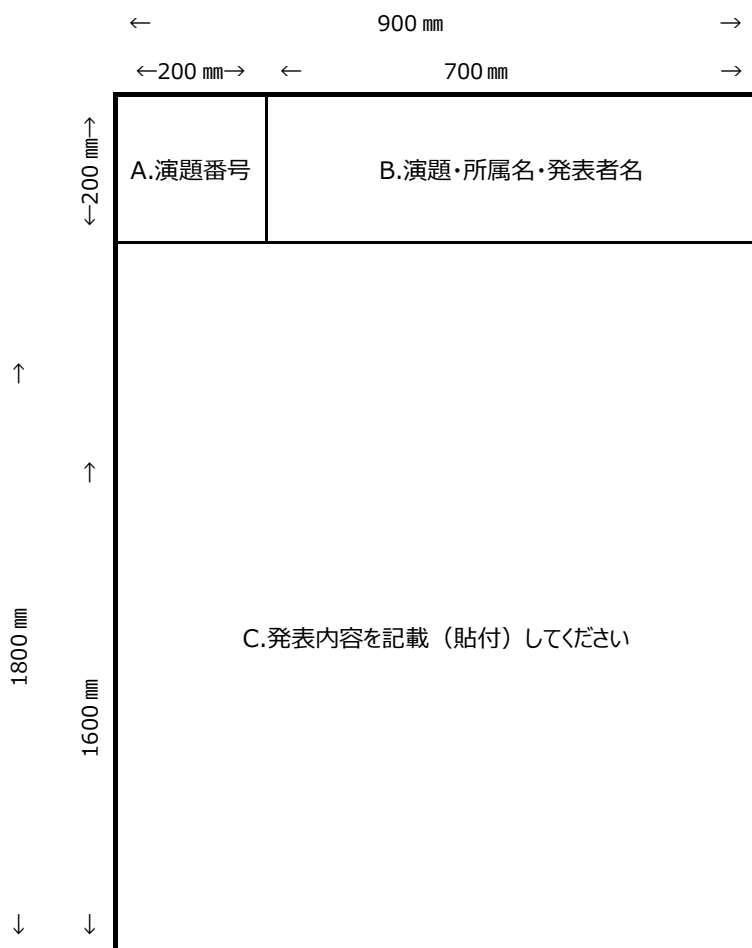
(参考文献)

- (1) 参考文献名は抄録原稿の最後にある形でまとめて  
記載。
- (2) 本文中での参照は該当部の最後に各カッコ[]内に  
数字形式で示す。

## 第 4 回日本マイクロ・ナノバブル学会学術総会一般演題

### (ポスター作成方法 ・ 留意点 )

#### (ポスター作成例)



演題番号は会事務局で用意します

(作成上の留意点)

- (1) ポスターの演題名は必ず抄録原稿と同じにしてください
- (2) 発表者名・所属名は共著者を含めて記載してください。
- (3) 研究に用いたマイクロ・ナノバブル水  
①気体の種類 ②粒径 ③密度 ④溶媒種あるいは製品名を本文中若しくポスターの最後に記載してください

**※ポスター掲示は1枚です。**



※ポスターは床面より 300mm の高さ位置に掲示します。